



生活に欠かせないもの

“夢を叶える大月仕事人”の連載第13回目は、花咲にある有限会社井上製作所の代表取締役である、井上文仁さんに、大月短期大学生がインタビューしました。



～プロフィール～

有限会社井上製作所 代表取締役 花咲在住
座右の銘：実るほど 頭の下がる 稲穂かな
お気に入りの場所：自宅裏山の諏訪神社から見る生まれ育った地元の景色
町工場の経営以外に先祖から受け継いだ田んぼで米作りも行っている。

—どのような仕事をしていますか？

プラスチックの射出成形という仕事をしています。

射出成形には、「熱硬化性プラスチック」と「熱可塑性プラスチック」の2種類があり、全体の9割程度が熱可塑性プラスチックで、弊社もこれを行っています。

射出成形とは簡単に説明すると、成形機・金型・成形材料の

3つの器具や道具を使い、技能習得者がその中で主に4つの要素（温度・圧力・時間・速度）を使って、最適な条件を作り出し製品を連続して作る作業です。単純作業ですが、安定した成形品を作るには奥が深く、様々な知識が必要になります。

医療部品、電気・電子部品、自動車部品、娯楽部品など、多種多様の製品を作り、24時間自動成形により1日に2万個以上の部品を作ること可能です。

—社員の仕事内容はどのようなものですか？

カット面が出っ張っていないかや切りすぎているか、外観の汚れがないか傷がないかなど、主に製品の検査をして出荷するというをしています。

—井上さんの将来の夢や目標はありますか？

若い世代が少ないので、若い世代に会社に入ってもらって、技術を覚えてもらって、のれん分けのような形で事業承継のようなものができたら、一番いいと考えています。

若い世代のやる気のある人が事業を広めてくれば、雇用も増えるので、それが夢かなと考えています。

振り返ってみると、自分もそうだったのですが、一度は都内に出てみたいという気持ちは分かりますが、地元で働けば、地

元の良さが分かるし、地域に貢献したいと思えますよ。

—大月市の魅力と課題を教えてください

魅力はやっぱり、「都内に近い」「自然が多い」「田舎だから都会に比べて地域のつながりが強い」というところです。清掃活動など、地区単位・公民館単位での集まりが未だにあるのが田舎の良さだと思います。あとは、今流行りのキャンプや溪流釣りなどができることも魅力のひとつではありますね。このような魅力を有効活用できればいいと思います。

しかし、遊ぶとなると若い人たちは都内の方に行ってしまうところをなんとかできないかなと考えています。

—私たち若者にメッセージをお願いします

色々あって、結構努力や苦労をしてきましたが、その時々を一生懸命頑張っしてほしいです。学生なら勉強を集中して頑張っ

て欲しい。1日頑張れば1週間頑張れるし、1週間頑張れば1か月頑張れるし。続けていけば1年、10年頑張れるから、今を一生懸命頑張っしてほしいです。



井上さんの汗と涙の結晶を目にして感激を受けました。

人との繋がり

井上さんは昔から地域との繋がりを大切にしてきました。それは、今井上さんが行っている事業に良い影響を与えているのではないかと感じました。特に、職場での人間関係や地域間でのコミュニティーを今でも大切にされているため、今の信頼があると思います。私たちも井上さんのように人との繋がりを大切にできる大人になりたいです。

